

全職員、外部スタッフの皆様

運動会のご指導、お仕事ご支援ありがとうございました

3 週間に渡る運動会のご指導、ありがとうございました。先生方のお力なくして今回の成功はありえませんでした。練習や本番を見させていただき、各学年が技の完成にとどまらず、学年や個々の実態・発達段階に応じた指導をしてくださっている様子がわかりました。

事務・主事の皆さんには、裏方をしっかりと支えていただきました。受付・警備・整理・安全面の連絡・報告をしていただいたことで全体の運営がつつがなく進行できました。

教職員の皆さまに改めて感謝いたします。

「きたにし通信 11」で以下の 8 点のことをお伝えしました

- ・本番を成功させることは、運動会の最終目標ではありません。
- ・あくまでも、「教育目標の達成」です。「人格の完成」です。そのために大切なのは、学習の過程です。
- ・指導のやりっ放しは絶対にやってはいけません。
- ・学習の前に「めあて」の確認を、終わりには「めあて」の振り返りを必ずさせてください。
- ・学年での目標を共有しましょう。頑張っている子をほめましょう。個別に、全体に。さりげなく、おおげさに。
- ・安全面は、何よりも最優先に配慮すべきことです。
- ・常に冷静に。情熱をもつことと熱くなることは同じではありません。
- ・決められた時間内での指導をしてください。

そして、運動会が終わりました。これからが大切です

- ・3 週間の子どもたちの努力・成長を賞賛してください。「全体で、個別に、さりげなく」
- ・事後の学習の最中や通常の指導の中で、「運動会で身に付けたことを生かしているね、さすがだね。すごいね」などとほめられた部分は真の力となります。

大事なのは、これからの学校生活に生かすということです。それぞれの学年で目指そうとしたこと、行事で見られた良い面が本物の力として定着するために、今日以降の授業に意図的・計画的に指導を行うことが、運動会の本当の成功です。

節目で育つ子どもにしていきましょう